

緑のセンターだより

No.269 令和3年8月1日発行

発行元：(公財) 札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

ヤマボウシ

ミズキ科 ミズキ属 コウサ Cornaceae Cornus kousa (Benthamidia japonica)

6月の中ごろ4枚花弁の直径10cmほどの白い花が、枝葉の緑を綿帽子で覆い隠すように咲き誇ります。花弁に見えるのは苞で、中心にゴマ粒大の物が20~30個あり、これが一つ一つの花でできた集合花です。顕微鏡で見なければ判らないようなゴマ粒大の花に雌しべ1つ・雄しべ4つ、花弁4枚があり、枝は段々状に積み上がるにつき、木の高さは3~10mくらいです。原産は東アジア温帯で、日本は本州以南から沖縄に自生しています。

名前の由来は、平安後期～戦国時代～安土桃山時代にかけて寺社の領地、宝物を守るために僧が兵隊化したことを僧兵といい、ヤマボウシの白い総苞片が、僧兵の白い頭巾をまとった様子と似ていたので、比叡山の僧兵からヤマボウシの名が付けられたと言われています。ちなみに比叡山の僧兵は山法師、興福寺の僧兵は奈良法師、園城寺の僧兵は寺法師と呼ばれています。

豊平公園の花時期は、おおよそ6月5日くらいから2週間ほどで、初夏のほどよい気温の中、枝えだを覆う真っ白な、その光景は陽の光を受け輝いている真綿雲が重なったようで、すがすがしく感じます。花が終わると、爪楊枝に金平糖を付けたような実が天に向かって並び立ち、風に揺れるとラインダンスでも舞っているようです。

秋には紅葉し、実は食べられるようになると赤く垂れ下がり鳥が好んでついばみ、春から秋まで通して楽しめる庭木です。

今は、変異種、いろいろな交配種が市場に出て、総苞片が赤系、株立ち系、葉が斑入り系、食用果実系に作られたものがあり、趣向に合わせ庭木に選ばれています。生育環境は日向の有機物が多く湿り気があり、水はけの良いところを好み、裸地になつて乾燥のしやすいところには向きません。

学名の *Cornus* は「角」という意味ですが、材も角のよう堅いので付けられたようです。また、割れにくいので木の道具に用いられ、水車の部材、油搾汁機、掛け矢（地面に杭を打つ大型の木槌）、かんな台、のみの柄、下駄の歯、櫛などに使われました。



参考文献 植物分類表 アボック社 大場秀章、 植物学名大辞典 植物学名大辞典刊行会 万谷幸男編、

web：関東森林管理局「ヤマボウシ」、 大日本有用樹木効用編 諸戸北郎

8月の園芸作業

ここに記載した以外の作業も沢山ありますので
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問合せください。

緑の相談受付 10:00~12:00 13:00~16:00

★豊平公園 811-9370 月曜以外毎日

(月祝日の場合は受付、翌平日に休み)

★百合が原公園 772-3511 毎週 木、日

★平岡樹芸センター 883-2891 毎週 水、土

		作業時期	作業内容	
		上旬	中旬	下旬
屋外園芸	庭木	病害虫防除	オンコのカイガラムシ、ナガチャコガネの駆除	
		整枝・剪定	イチイ、マツ類、カエデ類の整枝剪定（枝透かし）、生垣の刈り込み。	
	花木	芯止め剪定・芽かき	フジの芯止め。ボタンは上旬までに芽かきをして伸長を抑制する。	
		病害虫防除	ツツジ、シャクナゲ、その他花木類の病害虫防除	
	果樹	徒長枝の整理	リンゴ、ナシ、モモ、ウメ、ブルーン、プラムなど。	
		除袋	モモ（完熟の10~15日前）の収穫期に合わせた除袋。リンゴ、ナシは9月	
	野菜	根・葉菜類の播種	秋ダイコン、ホウレンソウ、コマツナ、タカナ、カラシナなどの播種	
		植付け・収穫	ラッキョ植付け（8月中旬~9月上旬）、イチゴ植付け（8月下旬）、ハナミョウガ収穫	
		定植、摘芯、病害虫防除	中旬までにハクサイの定植。果菜類の整枝、誘引、摘芯、病害虫防除	
室内園芸	花壇	切り戻し・追肥	草花類の花がら摘み、切り戻し、追肥	
		株分け・植付け	ハナショウブ株分け・植付け（上旬）、コルチカム類他夏植え球根植付け（中~下旬）	
	芝生	日常管理	刈込み。降雨の少ない時は灌水。	
		病害虫防除	立枯れ病（ブラウンパッチ）発生予防のため、殺菌剤の散布	
	鉢花	遮光	戸外管理の直射日光に注意（50~60%遮光）	
		施肥・灌水	高温期の施肥・灌水に注意。普通鉢のシクラメン植替えは下旬。	
	洋ラン	植替え	カトレア類の新芽が出たものの株分け、花後のコチョウランの植替えは下旬。	
		病害虫防除・管理	カイガラムシなどの病害虫防除。施肥・灌水は高温時には控える。	
	多肉植物	開花促進	クラッスラ（花月）などの夏生育型の施肥・灌水を控える。	
観葉植物		施肥・灌水	冬生育型は休眠期なので、灌水・施肥を極力控える。	
		灌水	鉢全体の重さを確認し、たっぷり灌水	
		施肥	置肥による施肥は月1回が目安。液肥は10日に1回	
		遮光	置き場所に注意し、葉焼けを防ぐ。	
		整枝・増殖	切り戻しによる整枝。取り木、挿し木による増殖	
		病害虫防除	ハダニ、コナジラミ、カイガラムシなど（初期の発見、処理が大事）	



Q コチョウランを鉢以外で育てる方法はありますか？

A コチョウランは本来、樹木の幹や枝に根を張り成長する着生植物です。コルク板やヘゴ板、流木などに水苔とともに着生させると、自然の状態に近い形で栽培を楽しむことができます。鉢栽培のように水苔が劣化しにくく、4~5年一度仕立て直しを兼ねて植え替える程度で大丈夫です。根の状態が見やすく、根腐れがしにくいのも大きな利点です。

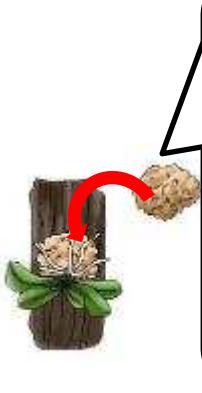
●材料

- ・コチョウランの株
- ・着生させる土台（コルク板やヘゴ板、流木など）
- ・水苔 ※使う1~2時間前から水でゆっくり戻しておく
- ・糸（テグス糸やタコ糸など） ※水や日光で劣化しやすい素材のものは避ける。

●方法



① 鉢から株を抜き、古い水苔はすべて落とし、傷んだ根は消毒したハサミで整理する。長すぎる根は土台の大きさに合わせて、半分くらい切ってもよい。水苔を少量土台の上に乗せる。



② その上にコチョウランの株がやや下向きになるように配置し、根が軽く隠れる程度にさらに水苔で覆う。※上向きでもよいが、下向きにすると葉の中心に水が溜まらず、病気を防げる。



③ 株と水苔が落ちないよう、土台ごと糸でグルグル巻きにし、しっかりと固定する。上部に穴をあけ、針金などで吊るせるようにする。

展示会・開花情報

(2021年8月~9月)



〒062-0905
豊平区豊平5条13丁目
TEL 011-811-6568
地下鉄東豊線
「豊平公園」駅下車
1番出口徒歩1分

夏のおわりの野草園

8月に入ると野草園ではキカラスウリが咲き、キレンゲショウマがまるいツボミをつけはじめます。8月下旬頃エゾリンゴの紫が夏のおわりを告げるようです。



展示会情報

サボテンと多肉植物展
9/3~9/5



〒004-0874
清田区平岡4条3丁目
TEL. 011-883-2891
地下鉄東西線
「大谷地駅」から
中央バス（大69）
→「平岡4条2丁目」下車
徒歩1分

ネムノキやカシワバアジサイ

園内では8月に入るとネムノキやミナヅキ、お盆の頃にはミヤギノハギが見頃となります。また8月下旬頃から秋にかけてカシワバアジサイが色づいていきます。



〒002-8082
北区百合が原公園 210
TEL 011-772-3511
JR学園都市線
「百合が原」駅下車
徒歩7~10分

盛夏の花々



8月、百合が原公園を彩ってきたユリもいよいよ後半戦！世界の百合広場では「ユリの女王」と称されるカサブランカが咲き始めます。直径20cmほどにもなるカサブランカのほか、ユリの季節を締めくくるにふさわしいユリ達をお楽しみいただけます。また、リリートレイン沿線の「ムクゲコレクション」では、約35品種もの花色が豊富なムクゲが楽しめます。

ユリ開花期：～8月中旬まで

展示会情報

フクシア展
～多彩な花色と花形のフクシア
コレクション～
開催中～8/15（日）

札幌軟石と植物展
8/24（火）～9/5（日）



イベント情報（8月～9月）



豊平公園緑のセンター

☎ (011) 811-6568

<https://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

【クラフト講座】	開催日	時間	教材費	定員	申込開始
秋田産 あけびランタン型編みかご～アジサイ付き～	8月25日(水)	10:00～	3300円	15名	8/11(水)～
【園芸教室】	開催日	時間	教材費	定員	
鉢花・草花・球根類の秋管理	9月5日(日)	13:30～	200円	20名	

※新型コロナウイルス感染拡大の影響で予定が変更となる場合があります。



名物ゆり根どら焼き ￥200
緑のセンター受付売店で販売中

季節の花苗が豊富！！

百合が原公園
ガーデンショップ
営業時間 9:30～17:00

ガーデンショップ 営業中！！



屋外売店も営業中！！



豊平公園
ガーデンショップ
営業時間 8:45～17:00